

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

BEST AVAILABLE COPY

PUBLICATION NUMBER : 63300001
PUBLICATION DATE : 07-12-88

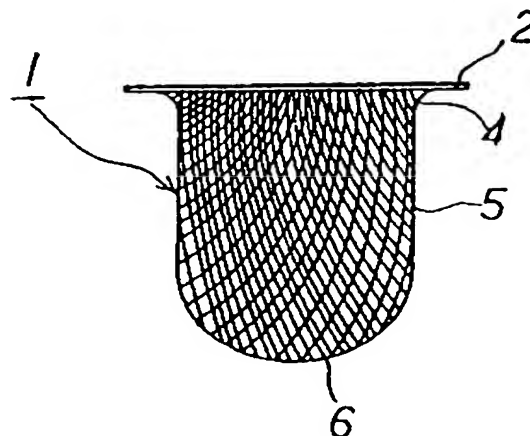
APPLICATION DATE : 30-05-87
APPLICATION NUMBER : 62133477

APPLICANT : SUMIKEI ARUMIHAKU KK;

INVENTOR : MORI TAKENAO;

INT.CL. : B65F 1/00 B01D 23/02 E03C 1/262

TITLE : FILTER FOR SINK TANK



ABSTRACT : **PURPOSE:** To make it easy to attach a filter for a household sink tank, by forming the filter bag of a synthetic fiber non woven fabric, in an integrated one body, and extending this filter bag as the mesh becomes loser from a flange set at the brim of the filter bag toward the bottom.

CONSTITUTION: A filter bag 1 is formed of a polyester non drawn synthetic fiber non woven fabric, in an integrated one body, and this filter bag 1 is attached from the center part of a flat ring-shaped flange 2, as extending the side 5 and the bottom 6 in one body. In this case, the filter bag 1 is extended as meshes of the brim 4 near the flange 2 become close, and meshes of the side 5 and the bottom 6 become looser. With this constitution, the filter can be attached easily, through only holding the flange 2 for putting the filter bag 1 onto a basket-shaped filter case.

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio

⑩ 日本国特許庁(J P)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-300001

⑬ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)12月7日

B 65 F 1/00
B 01 D 23/02
E 03 C 1/262

1 0 2

A-7214-3E
C-7824-4D
B-6654-2D

審査請求 有 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 流し台フィルター

⑯ 特 願 昭62-133477

⑰ 出 願 昭62(1987)5月30日

⑱ 発 明 者 北 村 寛 大阪府大阪市北区堂島浜1丁目2番6号 旭化成工業株式会社内

⑲ 発 明 者 森 武 尚 東京都千代田区神田錦町3丁目19番地 住軽アルミ箔株式会社東京事務所内

⑳ 出 願 人 旭化成工業株式会社 大阪府大阪市北区堂島浜1丁目2番6号

㉑ 出 願 人 住軽アルミ箔株式会社 群馬県伊勢崎市粕川町1670番地

㉒ 代 理 人 弁理士 小松 秀岳 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

流し台フィルター

2. 特許請求の範囲

合成繊維不織布の一体成形によって成形された袋体であって、該袋体はその上端に外向きのフランジ部を備えるとともに、袋体の側部および底部は、フランジ部より繊維の組織が粗目に展伸されてなることを特徴とする流し台フィルター。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は、家庭の台所等に設置されている流し台などで使用するフィルターに関するものである。

[従来の技術]

家庭の台所等に設置されている流し台の排水口は、通常調理時の材料の切り屑や茶の葉等がそのまま流入するので、これらの塵芥により排水管等が詰るおそれがある。

そこで調理時の塵芥が流し台の排水口に流入しないようにするため、金属製、合成樹脂製等のカゴ状の網目の濾過器を排水口に取付けた流し台が多く使用されている。ところが、このような網目を持った濾過器には塵芥がすぐ詰り、これを取り除くことが容易でないため、常に濾過効果を保ちつつ排水性を確保することが困難な場合が多い。

そこで濾過器から塵芥を取り除きやすくするため、合成樹脂製の有穴袋、和紙製の袋等を上述のカゴ状濾過器の内部に装着することが行われている。

[発明が解決しようとする問題点]

カゴ状濾過器の内部に装着する従来の袋は、上部に開口部を持つだけの単純な形状の三方封緘袋や、三角形の袋であるため、カゴ状濾過器に簡単適切に装着することが困難な場合が多い。

本発明は装着時の不具合を解消し、容易に装着することができる流し台フィルターを提供することを目的とするものである。

〔問題点を解決するための手段〕

本発明は、合成繊維不織布から一体成形によって成形された袋体であって、該袋体はその上端に外向きのフランジ部を備えるとともに、袋体の側部および底部は、フランジ部より繊維の組織が粗目に展伸されてなることを特徴とする流し台フィルターである。

この発明でいう合成繊維不織布は、大変形に展伸できることが必要である。例えばポリエステル系のポリマーなどからなる未延伸繊維あるいは半延伸繊維の不織布であって、少なくとも加熱雰囲気下で大変形の成型ができることが好ましい。

合成繊維不織布を加熱プレス成形等の方法で一体成形加工されたものは、そのフランジ部と袋体の側部上方部との関係において相当程度の保形性を有しているので、フランジ部をカゴ状濾過器の上にのせるか、排水口にのせて開口部を有するゴム栓で押えるだけで、容易に装着することができる。また、該袋体の側部と底部は、

不織布の繊維組織の目が粗くなるため、塵芥の分離性と通水性を十分に確保することができる。

〔実施例〕

以下、本発明の実施例を図に基づいて説明する。

第1図は、ポリエステル系の未延伸合成繊維不織布によって一体成形した袋体1の正面図で、平らなリング状のフランジ部2の中央部から側部5および底部6が一体に展伸して設けられている。フランジ部材2には第2図に示すように把持部3を形成して、つかみやすくしてある。

側部5および底部6は展伸して設けられたものであり、フランジ部2に隣接する上縁部4の付近は目が細く、側部5から底部6になるにしたがって次第に目が粗くなっている。

このフィルターは、フランジ部材2をつかんでカゴ状濾過器の上にのせるだけで、袋体1をカゴ状濾過器の内部に容易に装着することができる。また流し台の排水口にカゴ状濾過器を取り付けていない場合には、フランジ部材2をつ

かんで排水口の上にのせ、開口部を有するゴム栓でフランジ部材2を排水口の周囲に押えることにより、このフィルターを排水口に装着することができる。

袋体1の側部5および底部6は展伸されてフランジ部より繊維の組織が粗目になっているので、十分通水性を確保することができ、しかもカゴ状濾過器の網目よりは微細であるため、流し台の塵芥流出を防ぎ、排水管やカゴ状濾過器を滑浄に保つことができる。

〔発明の効果〕

本発明の袋体は合成繊維不織布で一体に作られているので保形性が良く、口縁部は繊維密度が高く保形性のよいフランジ部となっているので、カゴ状濾過器の内部や排水口に極めて簡単に装着できる効果がある。そして袋体の側部および底部は展伸されて粗目になっているので、通水性を確保した状態で塵芥の流出を防ぐことができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例の側面図、第2図は平面図である。

- | | |
|--------|-----------|
| 1…袋体、 | 2…フランジ部材、 |
| 3…把持部、 | 4…上縁部、 |
| 5…側部、 | 6…底部。 |

特許出願人 旭化成工業株式会社
 特許出願人 住軽アルミ箔株式会社
 代理人 弁理士 小 松 秀 岳
 代理人 弁理士 旭 宏

特開昭63-300001(3)

